

各位



兼松、トヨタ自動車(株)の新技术を採用した「スタンプ式めっき処理装置」の販売を開始

兼松株式会社(以下、兼松)は、トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ)が開発した新技术を採用するミカドテクノス株式会社(以下、ミカド)製「スタンプ式めっき処理装置」の販売を2020年7月より開始します。

今般販売するスタンプ式めっき処理装置は、ミカドがトヨタ保有の特許とノウハウの供与を受け、独自の真空プレス技術を織り込んだものです。

この新技术は、電子部品などの製造過程で、基板に銅やニッケルなどの金属の皮膜を形成するめっき処理工程において、金属イオンを優先的に通す高分子膜(固体電解質膜)を使い、必要な部位にのみスタンプを押すようにめっき処理を行う画期的なものです。従来式のめっき液槽に被めっき物を浸漬させる必要がなくなり、排出される廃液量が大幅に削減されるため環境負荷の低減が期待され、処理に必要な時間の短縮や、装置の省スペース化にもつながります。

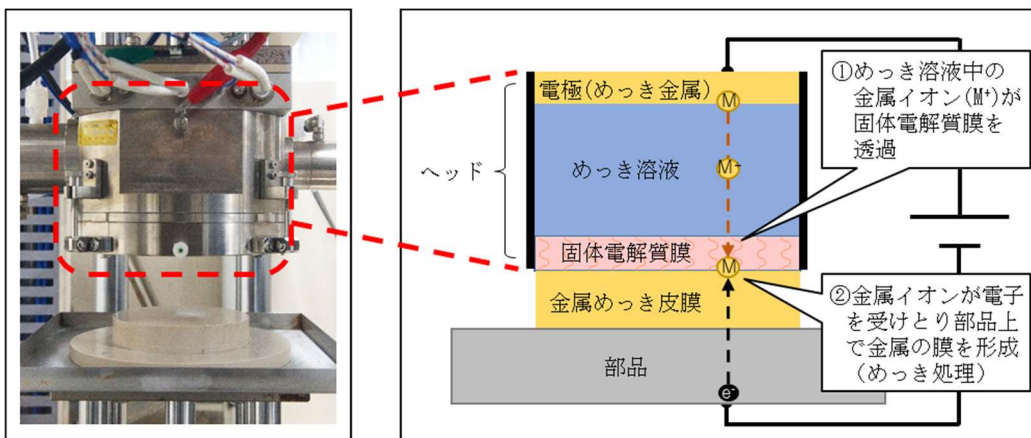
兼松は、長年にわたり電子部材を国内外へ供給し、業界に精通していることから、ミカド製「スタンプ式めっき処理装置」の販売を担い、当該装置に必要な高分子膜(固体電解質膜)や推奨めっき薬液などの供給も独自のノウハウやネットワークを生かし複合的にサポートします。

当面はラボ実証・評価用のモニター装置として販売し、2023年～2024年には量産用装置として広く一般向けに普及を目指し、環境負荷の低減に貢献して参ります。

【装置イメージ】

※トヨタ自動車(株)様プレスリリースより転載

<装置ヘッド部>



<装置外観>



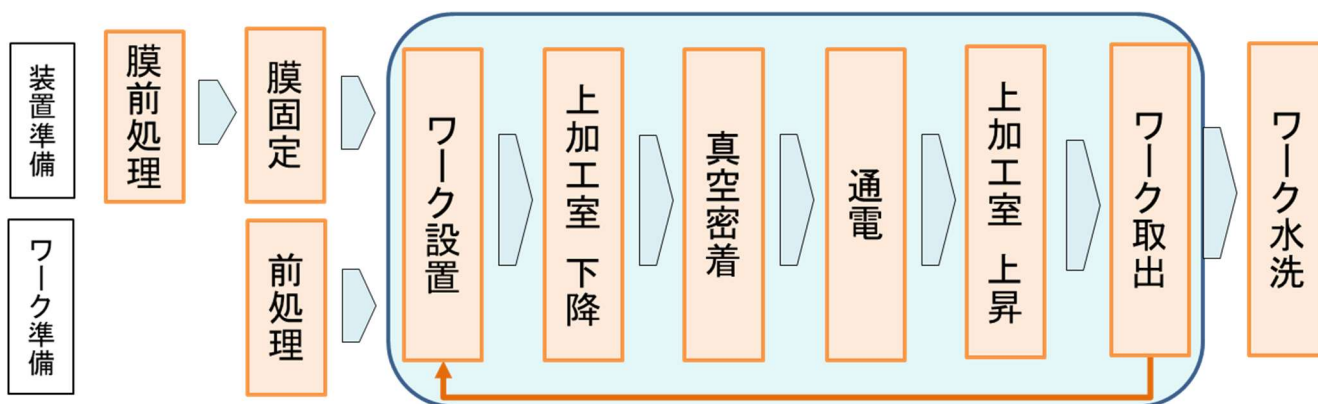
【装置仕様例】

名称	スタンプ式めっき処理装置
本体寸法	幅 1200×奥行 1050×高さ 2100mm
薬液ユニット	幅 710×奥行 710×高さ 1500mm
めっき液タンク	3L
ワーク寸法	最大 100×100mm、厚み 5mm 以下
対応下地	一般的な電解めっきと同様
対応処理	Cu（光沢、無光沢）※Cu 以外は開発中につき要相談

※ミカドテクノス株式会社

URL : https://mikado-net.co.jp/service/stamp_type/

【めっき工程イメージ】



<製品に関するお問い合わせ>

兼松株式会社 電子材料部第一課

電話 : 03-5440-8686

E-Mail : sed@kanematsu.co.jp

<報道機関のお問い合わせ>

兼松株式会社 広報・IR 室

TEL: 03-5440-8000